

基本は土・日開園。散歩がてら気軽に行ってみよう～！

備え付けの望遠鏡は **13台**



望遠鏡の使い方や野鳥の探し方がわからない時はスタッフが教えてくれるので、気軽に声をかけてみましょう



心の中は大歓声！
でも観察は静かに…

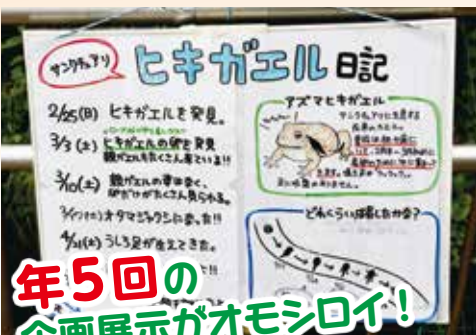
観察できる野鳥は **60～70種類**

1年を通しての常連はカワセミ、アオサギ、カイツブリなど。これからの季節はマガモ、モズ、ツグミ、オオカヤノスリなどがやって来ます

開園から **35年**



バードサンクチュアリで確認できた野鳥の種類を毎年記入してきた貴重な観察記録。1985年の開園から今年で35年になります



年5回の企画展示がオモシロイ！

水辺の生き物や生態系など、さまざまなテーマで企画展示が行われています。スタッフ手作りの展示にほっこり。現在は「公募写真展 光が丘の生きものたち」を開催中（2021年1月16日まで）

野鳥だけじゃないよ



今年、池で生まれたニホンスッポンの赤ちゃん



ミシシippアカミミガメのジャンボちゃんは、サンクチュアリの人気者。11月末頃から冬眠し、サクラが開花する頃に目覚めます



展示されている野鳥の剥製は触ることもできるので、じっくり観察するのにオススメ。写真はカルガモ

イベントも盛りだくさん！

自然観察・伝統文化体験や1日水族館、夜開園（夏期）など、さまざまなイベントを開催。12月と1月には「落ち葉かきと焼きりんご/焼いも」が予定されています。（詳細は下記ブログ参照）



自然を守る活動を支援しませんか？

練馬区で1番広い原っぱが、バードサンクチュアリ向かいにある「すすき原っぱ」。月に1回、草刈りや落ち葉かきなどの保全活動を行っています。一緒に体験してみませんか？ 当日参加 OK！
11月29日(日) 9時30分～12時



ようこそ！ 野鳥と自然の楽園へ 光が丘公園 バードサンクチュアリ



ノスリ (撮影：齋藤豊広さん)

遠出をしなくても、野鳥観察や自然を心ゆくまで楽しめる「光が丘公園バードサンクチュアリ」。管理運営をしている認定NPO法人生態工房の増永さんにお話を聞きました。

生き物たちの
パラダイス♡

光が丘公園サービスセンターの裏手に広がる静かな空間…そこがバードサンクチュアリです。専門のスタッフが常駐する自然観察施設としては都内でも数少ない貴重なスポット。年間を通して観察池に集う野鳥たちの様子を楽しむことができます。

観察舎から池を臨み、「やっぱり自然はいいな～」と思いきや、実は手つかずの環境というわけではなく、野鳥が使いやすいように手入れや管理をして保たれ



中へ入ると、野鳥や生き物の種類や個体数の最新情報が掲示されているので要チェック！



ているのだとか。「水草を定期的に刈ったり、林を間伐したり、外来種の動物を駆除したり。武蔵野台地の本来の生態系に近付けることを目指しています」と増永さん。

野鳥観察の
シーズン到来！

これからは渡り鳥が多くやって来る季節。野鳥観察のポイントを教えてください。

「鳥の姿が見えなくても、鳴き声や動きでわかることもあるので耳を澄ませ、目を凝らしてみてください。知っている鳥でも、歌っている時と警戒している時で声が違うことがあるんですよ」

五感を研ぎ澄ませ、静かな池や鳥を眺めていると心が開放されていくよう。皆さんもぜひ体験してみてください。



増永 望美さん 認定NPO法人生態工房の職員。

「街でも海でも山でも、どこでも会えるのが野鳥の魅力」と話す、根っからの野鳥好き。

■光が丘公園バードサンクチュアリ ブログ <http://hikigaoka.blog35.fc2.com/>
開園日：土曜・日曜 9時～17時 ※平日開園は年に12回。11月は、9日(月)と19日(木)。

